

1

A1

男性：明日コンサートへ行きませんか。

女性：もちろん。コンサートはいつ始まりますか。

男性：5時30分に始まります。コンサートホールの前で5時に会いましょう。

女性：わかりました。

質問：彼らは明日何時に会う予定ですか。

2

男性：何が食べたいですか。

女性：私はカレーライスが食べたいです。

男性：公園の近くにカレー屋さんがあります。そこで昼食を食べましょう。

女性：いいですね。行きましょう。

質問：彼らは昼食に何を食べるつもりですか。

B1

トム：ミカ、私は昨日の夜あなたに電話しました。

ミカ：本当ですか。何時に電話しましたか。

トム：私は8時に電話しました。あなたはそのとき夕食をとっていましたか。

ミカ：いいえ。私はそのとき音楽を聴いていました。

質問：ミカは昨夜の8時に何をしていましたか。

2

トム：ハイ、ミカ。私は今日映画を見るつもりです。一緒に行きませんか。

ミカ：ハイ、トム。行きたいです。しかし今日は忙しいです。

トム：わかりました。日にちを変えます。

ミカ：ありがとう。金曜日はどうですか。

トム：わかりました。映画は朝10時に始まります。平成駅に9時30分に来ることはできますか。

ミカ：行けます。

質問：金曜日、彼らはどこで会う予定ですか。

C

私は日本の学校生活を楽しんでいます。ホストファミリーのみんなはとても親切です。私のホストブラザーのタケシは高校生です。彼は音楽を聞くことが好きです。私も音楽が好きです。だから、私たちはよく音楽について話します。彼のおかげで、今私は、たくさんのJポップの歌を歌うことができます。私はそれらがとてもよいと思います。夏休みは来週から始まります。私は彼らと京都を訪ねるつもりです。私は日本の文化に興味があります。私はたくさんの写真を撮りたいです。

質問：ブライアンは京都で何をしたいですか。

2 1

(1)A：あなたは犬と猫のどちらが好きですか。

B：私は犬と猫の両方が好きだから、どちらかを選ぶのはできない。

(2)A：公園に行ってサッカーをしましょう。

B：いいね！はやく行こう！

(3)A：ハイ、週末はどうでしたか。

B：私は家族と美術館に行きました。それはとても楽しかったです。

(4)A：この本はあなたによって書かれましたか。

B：はいそうです。それを書くのに3年かかりました。

2

Riku：私はこの結果を見て驚きました。

Mike：私もです。海辺に行きたいのはたった数人だけです。

Riku：どうして人気がないのでしょうか

Mike：おそらく、日光が強すぎるからでしょうね。

Riku：しかし、他の屋外での活動は人気です。

Mike：たしかに。この辺りから海辺までが遠いからかもしれません。

Riku：そうかもしれません。キャンプ場や遊園地は海辺ほど遠くないです。

Mike：他のクラスの結果が知りたいですね。

Riku：そうですね。他のクラスの人に教えてもらいましょう。

3 1

(1)ハンバーガショップで

店員：こんにちは！ご注文はお決まりですか。

お客：はい。ハンバーガーを2ついただけますか。

店員：かしこまりました。何か飲み物はいかがですか。

お客：いいえ、結構です。おいくらですか。

店員：780円になります。

(2)公園で

ケン：ハイ、ナンシー。

ナンシー：ハイ、ケン。お元気ですか。

ケン：元気ではありません。

ナンシー：どうしたのですか。

ケン：私は時計を失くしました。だから、私はそれを探しています。

[英語のメール]

親愛なるナンシーへ

お元気ですか。私たちは体育館で吹奏楽部コンサートを開催します。それは6月14日の土曜日に開かれます。私たちは有名な日本のアニメソングをたくさん演奏する予定です。

そのコンサートは午後1時30分にはじまる予定です。しかしながら、あなたたちは午後1時に体育館に入ることができます。コンサートに来ることができますか。私たちはベストを尽くすつもりです。

あなたの友

ミカより

4

私はこの町はたいくつで特別なものが何もないと思っていました。だから、私は将来、特別で便利な都市に住みたいと思っていました。でも今はこの町に住み続けたいと思っています。今日は、気持ちの変化の理由をあなたたちにお話しします。

ある日、授業で私たちの町について調べなければならなくなりました。私はすでに知っていると思っていたので、それをしたくありませんでした。ともかく、私はインターネットで私たちの町を調べ始めました。多くの情報がありました。私はそのほとんどを知っていました。しかし、私は一つの新しい情報を見つけました。それは伝統的な陶器についてです。それはこの町で一人の女性によってつくられています。私は彼女についてもっと知りたくなりました。

数日後、私は彼女に会いに行きました。彼女の名前はケイコです。彼女はとても親切でした。彼女は彼女自身と伝統的な陶器について私に教えてくれました。また、彼女は私にそれのつくり方を見せました。彼女の技術はすばらしかったです。私は彼女のようにつくろうとしました。最初は難しかったです。しかしながら、彼女は私をたくさん助けてくれました。だから、私はそれをつくることができました。家に帰る前に、私は彼女に「いろいろとありがとうございました。今日は楽しかったです。この伝統的な陶器についてもっと学びたいです。」と言いました。彼女は「それを聞いてうれしいです。私はこの伝統的な陶器を次の世代に伝えなければならないと思っています。」と言いました。

ケイコさんのおかげで私はこの伝統的な陶器についてもっと学び、他の人たちと共有することを決めました。将来、私はたくさんのお子様たちにつくり方を教えたいです。そして、この町でそれを存続させたいです。

ミカの祖父母は農家です。彼らは家の隣に大きなぶどう園を持っています。そのぶどうはほかのぶどうより大きいです。さらに、それらはおいしいので多くの人々の間で人気です。夏休みの間のある日、ミカは彼女の祖父母の仕事を手伝うために彼らの家に行きました。彼女の祖父母は笑顔で、「私たちの家へようこそ。」と言いました。

それから、ミカはぶどう園で仕事を始めました。その仕事はミカが思っていたより大変でした。さらに、その日はとても暑かったです。しばらくして、彼女はとても疲れ、腕に痛みを感じました。ミカの祖母が仕事を止めてミカを見ました。ミカの祖母は彼女に「大丈夫ですか。あそこで休憩しませんか。」と言いました。ミカは祖母と休憩をとりました。ミカの祖母は彼女に「働きすぎではいけません。あなたの健康が最も大切です。覚えていてください、休憩することはあなたの健康のために必要です。」ミカは「わかりました。ところで、この仕事は大変で難しいですね。」と言いました。ミカの祖母は笑顔で「私がここで働き始めたとき、私にとってもすべてが大変でした。しかし、日に日に良くなっていきました。」と言いました。彼女は「そして、私はぶどうを見ることも楽しみになっていきました。今では、それらは私の子どもたちと同じくらいかわいく見えます。」と続けました。

休憩のあと、祖父母の助けのおかげで、ミカは仕事を楽しみはじめました。

夕方、ミカはぶどうを食べました。自分で摘んだそのぶどうは最もおいしかったです。彼女は一日で農業の良い部分と悪い部分の両方を経験しました。祖父母と過ごした時間はかけがえのないものになりました。この日はミカの夏休みの最も大切な思い出となりました。